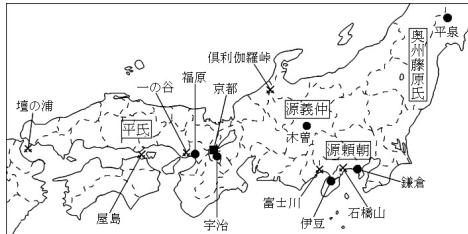
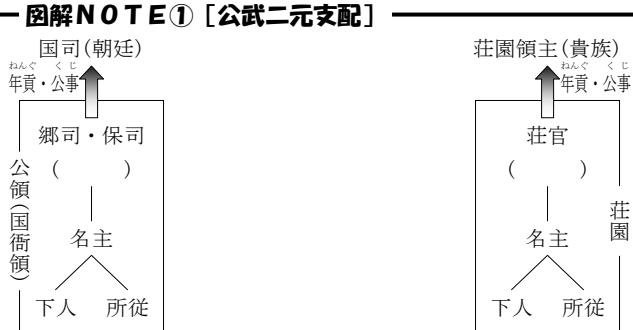
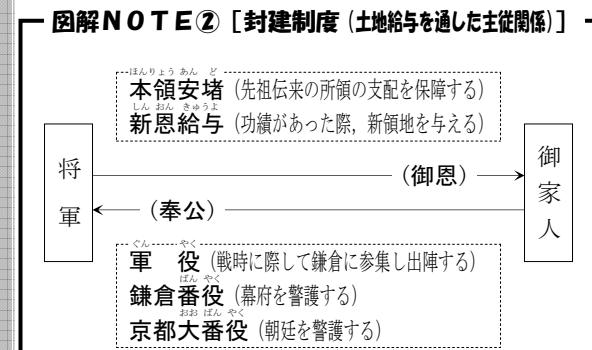
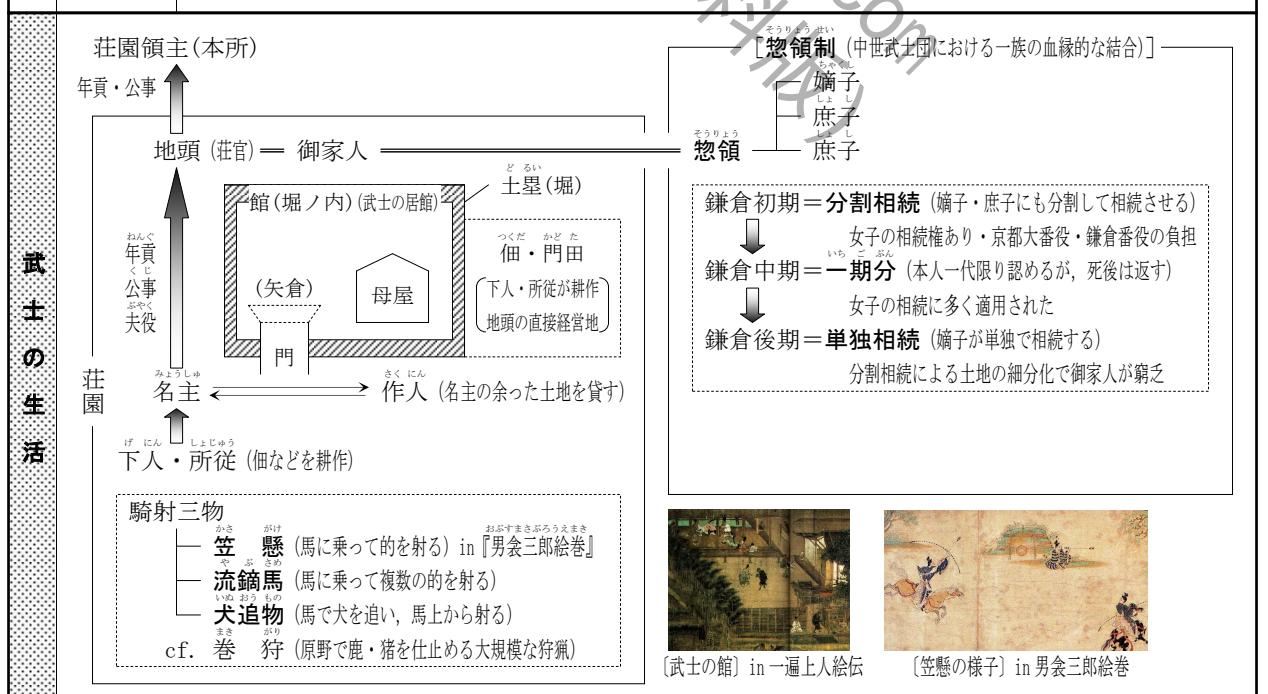
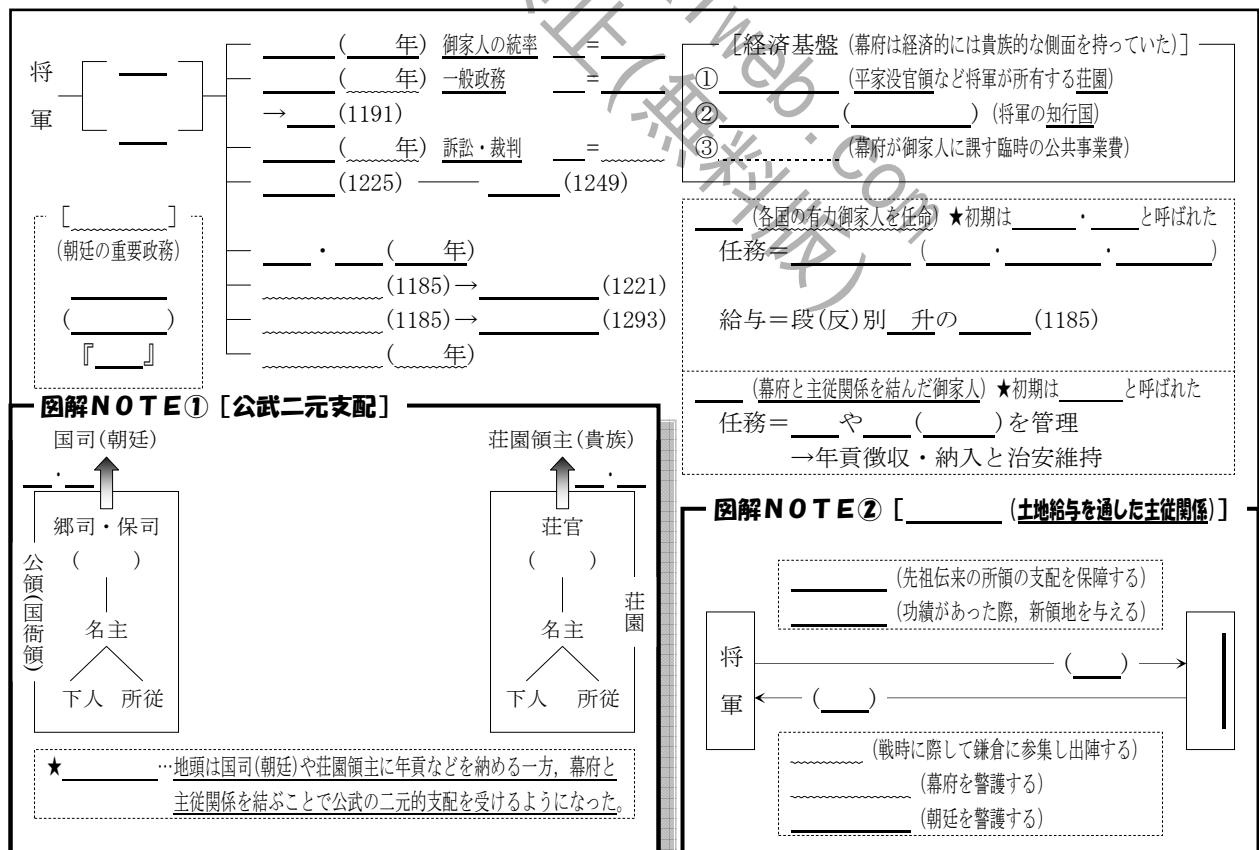
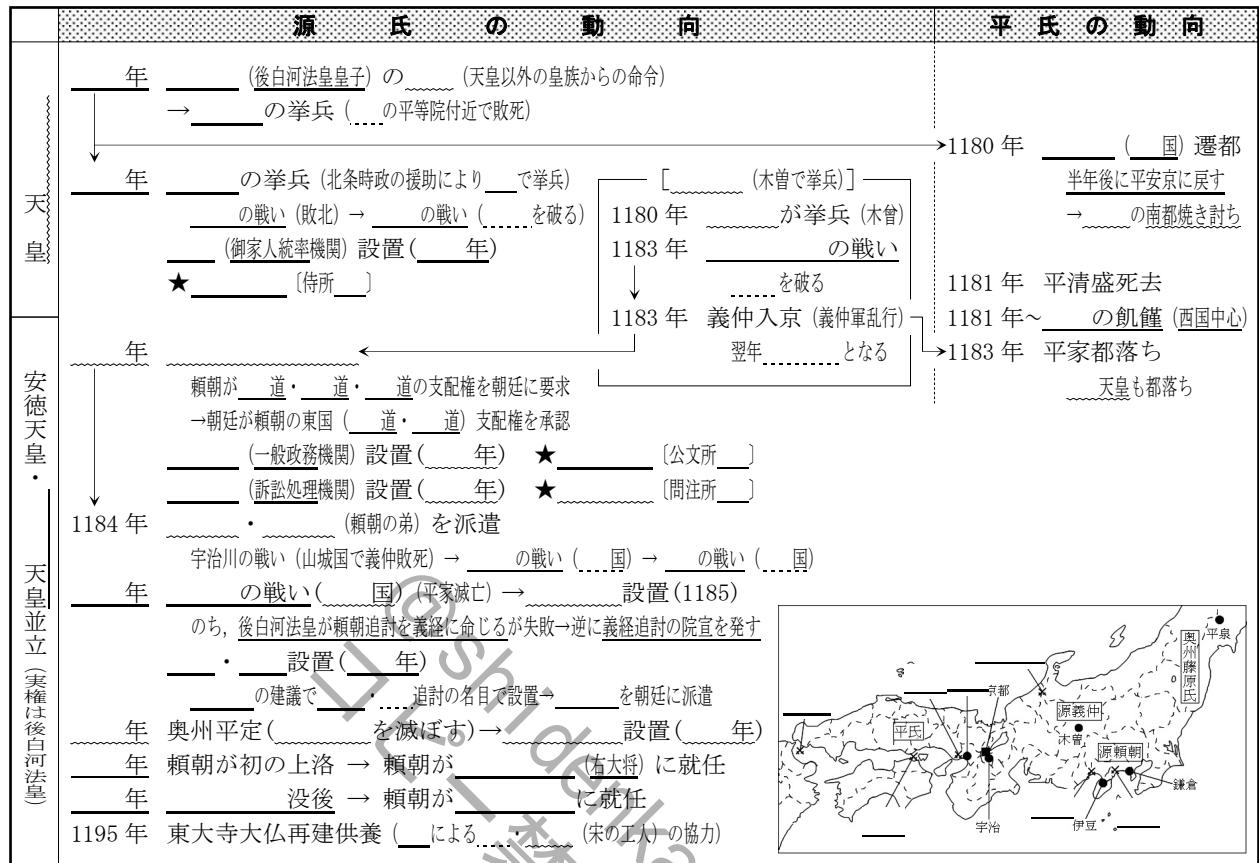


源氏の動向		平氏の動向
<p>1180年 以仁王(後白河法皇皇子)の令旨(天皇以外の皇族からの命令) →源頼政の挙兵(宇治の平等院付近で敗死)</p> <p>1180年 源頼朝の挙兵(北条時政の援助により伊豆で挙兵) 石橋山の戦い(敗北)→富士川の戦い(平維盛を破る) 侍所(御家人統率機関)設置(1180) ★和田義盛(侍所別当)</p> <p>1183年 寿永二年十月宣旨← 頼朝が東海道・東山道・北陸道の支配権を朝廷に要求 →朝廷が頼朝の東国(東海道・東山道)支配権を承認</p> <p>1184年 源範頼・源義経(頼朝の弟)を派遣 宇治川の戦い(山城国で義仲敗死)→一ノ谷の戦い(摂津国)→屋島の戦い(讃岐国)</p> <p>1185年 壇ノ浦の戦い(長門国)(平家滅亡)→鎮西奉行設置(1185) のち、後白河法皇が頼朝追討を義経に命じるが敗死→逆に義経追討の院宣を発す 守護・地頭設置(1185) 大江広元の建議で源義経・一行家追討の名目で設置→北条時政を朝廷に派遣</p> <p>1189年 奥州平定(藤原泰衡を滅ぼす)→奥州総奉行設置(1189)</p> <p>1190年 頼朝が初の上洛→頼朝が右近衛大将(右大将)に就任</p> <p>1192年 後白河法皇没後→頼朝が征夷大将軍に就任</p> <p>1195年 東大寺大仏再建供養(重源による勧進・陳和卿(宋の工人)の協力)</p>	<p>1180年 源義仲(木曾で挙兵) 1183年 俱利伽羅峠の戦い 平維盛を破る 1183年 義仲入京(義仲軍乱行) 翌年征夷大将軍となる</p> <p>1180年 福原京(摂津国)遷都 半年後に平安京に戻す →平重衡の南都焼き討ち</p> <p>1181年 平清盛死去 1181年~養和の飢饉(西国中心) 1183年 平家都落ち 安徳天皇も都落ち</p>	
		

<p>將軍</p> <ul style="list-style-type: none"> 執権 連署 [議奏公卿] (朝廷の重要政務) 九条兼実 (藤原兼実) 『玉葉』 	<p>侍所(1180) 御家人の統率 別当=和田義盛</p> <p>公文所(1184) 一般政務 別当=大江広元</p> <p>→政所(1191)</p> <p>問注所(1184) 訴訟・裁判 別当=三善康信</p> <p>評定衆(1225) —— 引付衆(1249)</p> <p>守護・地頭(1185)</p> <p>京都守護(1185)→六波羅探題(1221)</p> <p>鎮西奉行(1185)→鎮西探題(1293)</p> <p>奥州総奉行(1189)</p>	<p>【経済基盤(幕府は経済的には貴族的な側面を持っていた)】</p> <p>①関東御領(平家没官領など将軍が所有する荘園) ②関東御分国(関東知行国)(将軍の知行国) ③関東御公事(幕府が御家人に課す臨時の公共事業費)</p>
	<p>守護(各国の有力御家人を任命)★初期は惣追捕使・国地頭と呼ばれた</p> <p>任務=大犯三力条(大番催促・謀叛人の逮捕・殺害人の逮捕)</p> <p>給与=段(反)別5升の兵糧米(1185)</p>	<p>【守護(各国の有力御家人を任命)★初期は惣追捕使・国地頭と呼ばれた】</p> <p>任務=大犯三力条(大番催促・謀叛人の逮捕・殺害人の逮捕)</p> <p>給与=段(反)別5升の兵糧米(1185)</p>
	<p>地頭(幕府と主従関係を結んだ御家人)★初期は荘地頭と呼ばれた</p> <p>任務=荘園や公領(国衙領)を管理</p> <p>→年貢徵収・納入と治安維持</p>	<p>【地頭(幕府と主従関係を結んだ御家人)★初期は荘地頭と呼ばれた】</p> <p>任務=荘園や公領(国衙領)を管理</p> <p>→年貢徵収・納入と治安維持</p>
	<p>【因解NOTE①【公武二元支配】</p>  <p>★公武二元支配…地頭は国司(朝廷)や荘園領主に年貢などを納める一方、幕府と主従関係を結ぶことで公武の二元的支配を受けるようになった。</p>	<p>【因解NOTE②【封建制度(土地給与を通じた主従関係)】</p>  <p>本領安堵(先祖伝来の所領の支配を保障する) 新恩給与(功績があった際、新領地を与える)</p> <p>軍役(戦時に際して鎌倉に参集し出陣する) 鎌倉番役(幕府を警護する) 京都大番役(朝廷を警護する)</p>

執 権	政 治	・	争 亂	図解NOTE【將軍家系図】
頼朝			1199年 源頼朝 (右大将家 or 鎌倉殿 or 二品) 死去	
頼家			★有力御家人13人の合議制 (北条政子の実家である北条氏を中心に頼家の専制を抑える) 1200年 梶原景時の乱 (謀反を企て上洛をはかるが敗死) 1203年 比企能員の乱 (頼家と結び北条氏打倒を計画するが失敗) →源頼家を修禅寺 (伊豆) に幽閉 (-一幡は殺害される)	
実朝	北条時政 〔政所別当〕 ↓ 北条義時 〔政所別当〕 〔侍所別当〕		1205年 畠山重忠の乱 (対立を深めた北条氏の挑発にあい討たれる) ★のち北条時政は源実朝を廢して、娘婿の平賀朝雅の將軍擁立を計画 (牧氏の変) 1213年 和田義盛 [侍所別当] が北条義時に滅ぼされる (和田合戦) ★北条義時が政所・侍所別当を兼任 1219年 公暉が源実朝 [右大臣] を鶴岡八幡宮で殺害 ★『金槐和歌集』 (源実朝の和歌集) ★幕府は皇族將軍 (官將軍) の擁立を計画するが朝廷は拒否	
藤原 (九条) 頼經 ・ (頼嗣) 〔攝家將軍・藤原將軍〕			1221年 北条義時追討の院宣 (後鳥羽上皇が鎌倉幕府打倒のために西面の武士を設置して挙兵) ★天台座主の慈円 (九条兼実の弟) は乱直前に『愚管抄』を後鳥羽上皇に提出し倒幕挙兵を諫める 1221年 承久の乱 (北条義時は北条泰時 (義時の子)・北条時房 (義時の弟) を派遣し応戦) ★北条政子 (二品) による「右大将 (源頼朝) の御恩に報いよ」との演説で御家人結束 in 『吾妻鏡』 (鎌倉幕府編纂の歴史書) ―― [承久の乱の結果 (鎌倉幕府の勝利→公武二元支配における幕府の朝廷に対する優位性が確立)]―― ①上皇の処分・皇位継承 後鳥羽上皇 (隠岐に配流)・土御門上皇 (土佐に配流)・順徳上皇 (佐渡に配流) ★順徳天皇『禁秘抄』 (有職故実書) 仲恭天皇廢位→後堀河天皇即位 ②上皇側の所領 3000 カ所没収 →一大田文 (田数帳) (幕府が守護に命じて一国ごとの莊園・公領の土地面積・領有関係を記録させた土地台帳) 作成 ③新補地頭 (承久の乱後、新たに補任された地頭) を任命 (1221) →新補率法 (1223) (新補地頭の給与規定一段 (反) 別5升の加徴米の徴収権・田畠11町につき1町の免田・山川からの収益の半分) ④六波羅探題 (従来の京都守護にかわる→朝廷の監視・京都の警備・尾張 (のち三河) 以西の御家人の統轄)	北条時政 ↓ 頼朝 ↓ 政子 ↓ 義時 ↓ 実朝 ↓ 泰時 ↓ 公暉 ↓ 幡
			(1224年)	





執 権	政 治 ・ 争 乱	図解NOTE【将軍家系図】
	<p>年 _____ (右大将家 or 鎌倉殿 or 二品) 死去</p> <p>★有力御家人 _____ 人の合議制 (北条政子の実家である北条氏を中心に頼家の専制を抑える)</p> <p>年 _____ の乱 (謀反を企て上洛をはかるが敗死)</p> <p>年 _____ の乱 (頼家と結び北条氏打倒を計画するが失敗)</p> <p>→源頼家を _____ (伊豆) に幽閉 (_____ は殺害される)</p>	
	<p>年 _____ (別当) の乱 (対立を深めた北条氏の挑発にあい討たれる)</p> <p>★のち _____ は _____ を廢して、娘婿の _____ の將軍擁立を計画 (牧氏の変)</p>	
	<p>年 _____ [別当] が _____ に滅ぼされる (和田合戦)</p> <p>★北条義時が _____ 別当を兼任</p>	
	<p>年 _____ が _____ [] を _____ で殺害 ★『 _____ 』 (源実朝の和歌集)</p> <p>★幕府は皇族將軍(官將軍)の擁立を計画するが朝廷は拒否</p>	
	<p>年 _____ 追討の院宣 (_____ 上皇が鎌倉幕府打倒のために _____ を設置して挙兵)</p> <p>★天台座主の _____ (九条兼実の弟) は乱直前に『 _____ 』を後鳥羽上皇に提出し倒幕挙兵を諫める</p> <p>年 _____ (_____ は _____ (義時の子) ・ _____ (義時の弟) を派遣し応戦)</p> <p>★ _____ (二品) による「右大将 (_____) の御恩に報いよ」との演説で御家人結束 in 『 _____ 』 (鎌倉幕府編纂の歴史書)</p> <p>【承久の乱の結果 (鎌倉幕府の勝利→公武二元支配における幕府の朝廷に対する優位性が確立)】</p> <p>①上皇の処分・皇位継承</p> <p>上皇 (_____ に配流) ・ 上皇 (_____ に配流) ・ 上皇 (_____ に配流) ★ 天皇『 _____ 』 (_____ 書)</p> <p>天皇廢位 → 天皇即位</p> <p>②上皇側の所領 _____ カ所没収</p> <p>→ _____ (田数帳) (幕府が守護に命じて一国ごとの莊園・公領の土地面積・領有関係を記録させた土地台帳) 作成</p> <p>③ _____ (承久の乱後、新たに補任された地頭) を任命 (1221)</p> <p>→ _____ (_____ 年) (新補地頭の給与規定一段(反)別 _____ の徵收権・田畠 _____ 町につき _____ 町の免田・山川からの収益の半分)</p> <p>④ _____ (従来の _____ にかわる→朝廷の監視・京都の警備・ _____ 國 (のち _____ 國) 以西の御家人の統轄)</p>	
(1224年)		

武士の生活	莊園領主(本所)	【中世武士における一族の血縁的な結合】
	<p>莊園領主(本所)</p> <p>(莊官) = _____</p> <p>(武土の居館) (堀)</p> <p>母屋</p> <p>下人・所從が耕作 地頭の直接經營地</p> <p>門</p> <p>(名主の余った土地を貸す)</p> <p>(佃などを耕作)</p> <p>騎射三物</p> <p>(馬に乗って的を射る) in 『 _____ 』</p> <p>(馬に乗って複数の的を射る)</p> <p>(馬で犬を追い、馬上から射る)</p> <p>cf. (原野で鹿・猪を仕止める大規模な狩獵)</p>	<p>【中世武士における一族の血縁的な結合】</p> <p>嫡子</p> <p>鎌倉初期 = _____ (嫡子・庶子にも分割して相続させる)</p> <p>鎌倉中期 = _____ (本人一代限り認めるが、死後は返す)</p> <p>鎌倉後期 = _____ (嫡子が単独で相続する)</p> <p>分割相続による土地の細分化で御家人が窮乏</p>